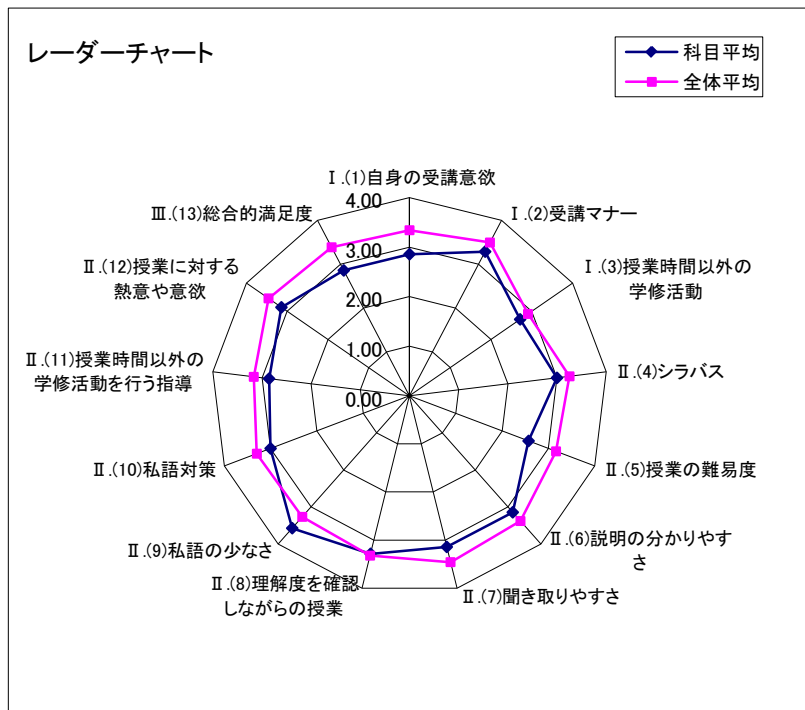
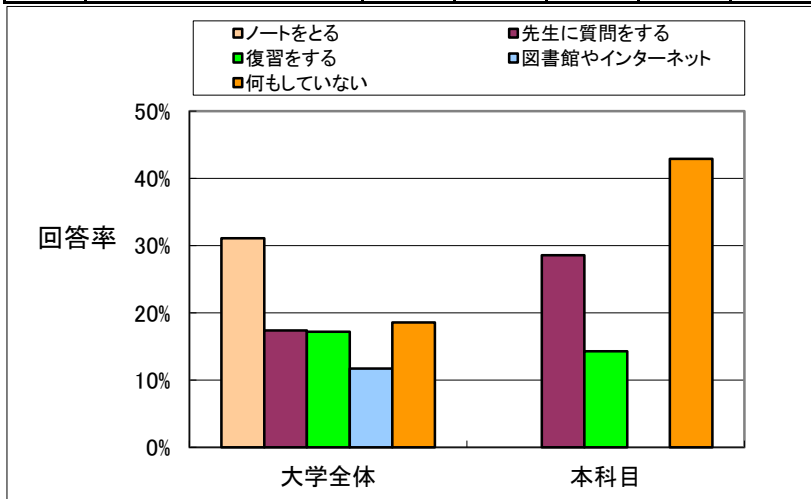


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

＜※複数選択可項目＞	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14) 授業を理解するための工夫	0.0	28.6	14.3	0.0	42.9



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	2.86	3.34
	I.(2)	3.29	3.49
	I.(3)	2.71	2.91
講義内容・方法	II.(4)	3.00	3.26
	II.(5)	2.57	3.16
	II.(6)	3.14	3.38
	II.(7)	3.14	3.46
	II.(8)	3.29	3.32
	II.(9)	3.57	3.27
	II.(10)	3.00	3.30
	II.(11)	2.86	3.17
	II.(12)	3.14	3.46
	総合評価	III.(13)	2.86

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	2.95	3.25
講義内容・方法 II.(4)~(12)	3.08	3.31
総合評価 III.(13)	2.86	3.39

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2012年度 後期
時間割番号	4104
科目名	基礎数学Ⅱ
教員名	

①授業計画の達成度について

シラバスの内容にしたがって、授業を進めていたが、最優先したのは、受講生の理解状況を確認しながら、進行することであった。シラバス内容の消化を優先しては、数学に親しみを持てなくなったり、途中で理解ができなくなるためである。  
また、この授業は最後の定期試験で厳格に一定の得点を取らなければ単位が取得できない仕組みになっている。授業の最後のほうでは、試験対策としての時間も設ける必要もあり、テキストの一部については対応しきれなかった。担当教員として、ほとんどの受講生は半期のあいだに、確実に数学力がアップしたことを確信している。しかし、単位の取得については、身についた数学力が惜しくも反映できなかった受講生が多かったことは残念でならない。

②授業の進め方について

積極的に出席することで一定の数学力を身に着ける必要のある受講生が多かったが、朝の1限での授業だったためか、欠席や遅刻が他の時間帯の授業よりも若干多い印象だった。数学は、とくにそれまでの知識、解法を理解したうえで、新しい問題に対する知識、解法を身に着けることが求められ、順を追って学んでいく必要がある。そのためときに、個別に問題を取り組ませる時間、一斉に説明をする時間、一斉に問題を取り組ませる時間など状況に応じて、工夫しながら授業を進めた。  
また、理解を深めたり、興味を持たせるために、黄白糖を配りその体積を求めさせるなど、テキスト以外の問題もときおりまじえた。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

テキストの問題数が多いので、効率よく効果的に取り組むための問題の選択をさらに考えていきたい。  
また、数学力を身に着けてもらうとともに単位取得を目指す授業を心掛けたい。